

平成 2 2 年度第 9 回水道審議会会議録

日 時	平成 2 3 年 1 月 1 1 日 (火) 午後 1 時 3 0 分～3 時 0 5 分
場 所	秦野市水道局庁舎 2 階会議室
出席委員 (◎会 長) (○副会長) 〔敬称略〕	◎松下 雅雄、高寺 勝夫、荒川裕美子、田村 雄一、大森 悦雄、 齊藤 政和、栗原千恵子、石川 道隆、古谷 茂男、永井 利幸 以上 1 0 名
欠席委員 〔敬称略〕	○川口 浩太、八木英一郎、綾部久美子、山本久美子、今井 新一 以上 5 名
委員以外 の出席者	水道局長 山口 誠一 水道業務課長 宮村 慶和 水道施設課長 松本 克己 水道業務課課長補佐(庶務担当) 福井 哲也 水道施設課課長補佐(建設担当) 仁平 康則 水道業務課課長補佐(経理担当) 原 正人 水道施設課課長補佐(維持担当) 原 廣行 水道業務課課長補佐(料金担当) 田中 和也 水道施設課課長補佐(浄水担当) 大原 享 水道業務課庶務班主査 宇佐美高明 水道施設課課長補佐(給水担当) 根岸 毅 水道業務課庶務班主査 和田 安弘
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 料金改定に関わる市議会審議結果について (2) 平成 2 3 年度水道事業会計予算 (案) について (3) その他
会 議 資 料	・平成 2 2 年度 第 9 回秦野市水道審議会次第 ・資料 1 料金改定に関わる市議会審議結果について ・資料 2 平成 2 3 年度主要施策説明書 ・資料 3 平成 2 3 年度秦野市水道事業会計予算 (案) 総括表 ・資料 4 水道事業財政計画と平成 2 3 年度予算との対比 ・資料 5 水道施設整備計画と平成 2 3 年度予算との対比 ・資料 6 秦野市水道事業計画

水道業務課
課長補佐(庶務担当)

本日、委員総数 1 5 名のうち、1 0 名の出席がありましたので、秦野市水道審議会規則第 6 条第 2 項の規定により、審議会が成立していることを報告します。

それでは、平成 2 2 年度第 9 回秦野市水道審議会を開会します。
松下会長、お願いします。

—松下会長あいさつ—

—資料の確認—

松下会長
局長

次第に従い、議事に移ります。「議題1 料金改定に関わる市議会審議結果について」、事務局から説明をお願いします。

事務局からの説明の前に、あいさつさせていただきます。

去年は、お忙しい中、熱心な審議をいただき、また、10月には「水道料金のあり方について」答申をいただきました。お陰をもちまして、12月議会に、給水条例の一部改正として議案を提出し、議長を除く議員25名中、21名の賛成多数で議決されました。経営状況、施設の状況に鑑み、料金改定はやむを得ないと御理解をいただいたと思っています。

しかし、本会議、常任委員会において、様々な要望、厳しい指摘を受けています。これを真摯に受け止め、施設の耐震化などに取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくをお願いします。

—水道業務課長が資料1により説明—

松下会長

事務局から、議案審議結果についての説明がありました。

ただ今の説明で、質問や意見などありましたら、お願いします。

—特になし—

松下会長

それでは、続いて「議題2 平成23年度水道事業会計予算(案)について」事務局から説明をお願いします。

—水道業務課長及び水道施設課長が資料により説明—

松下会長

来年度予算案について説明がありましたが、一言で表すとすれば、どのような予算でしょうか。

局長

4月から施設整備計画を進めることを考えると、「水道再構築の予算」とでも申しませうか。

松下会長

なるほど、分かりました。

では、質問や意見などありましたら、お願いします。

古谷委員

今後、進めていく事業において、業者決定の方法と基準などを教えてください。

局長

市では、契約課が契約に関する窓口となり、一定の条件と基準を持って入札業務に当たっています。市内事業者の育成を原則とはしていますが、工事等事業の規模によっては、資格の問題から市内に限定しないものもあります。

古谷委員
局長

業者の決定は、原則として契約課における入札なのですね。

そうです。そのため、競争原理が働き、予定価格、設計金額の75パーセントから80パーセント位で落札しているのが現状です。中には最低金額を下回り、失格となってしまうような低入札もあり、業界からはこのような現状を変えられるような入札制度を検討してほしいとの要望もあります。

永井委員

水道施設整備計画と平成23年度予算との対比の中で、安定供

	給のための水源確保について、「緊急時の」とありますが、緊急時とは、地震などの災害のみを指しているのでしょうか。
水道施設課長	地震などのほか、停電など、緊急時と考えられるすべてへの対応を考えています。
永井委員	停電への対応ということであれば、地域の重要施設には、違う2系統から電気を引くことは考えられないですか。
水道施設課 課長補佐(浄水担当)	本市の水道施設の設備は、小さい規模のものが多く、2系統から電気を引くことができません。また、地域によっては2系統の電気が供給されていないため、現時点では考えていません。
局長	そのため、主要施設については、自家発電設備を整備して対応するものです。
永井委員	分かりました。
松下会長	ほかにありませんか。
田村委員	確認ですが、秦野市の主要管路における耐震化率は、何パーセントだったのでしょうか。
水道施設課長	16.7パーセントです。
局長	10年後で30パーセント弱、100パーセントにするためには、あと50年くらいかかる計算になります。
松下会長	ほかにありませんか。
	—特になし—
松下会長	それでは、次に「議題3 その他」ですが、事務局から何かありますか。
水道業務課	5点あります。
課長補佐(庶務担当)	まず、1点目は、「資料6 秦野市水道事業計画」です。水道審議会委員の皆様と共に策定した計画ですが、今後、ホームページに掲載して、市民の皆様にも周知していきたいと考えています。
	2点目は、企業債の繰り上げ償還です。6.3から7.3パーセントという過去の高い利率で借りている企業債の未償還元金4億5,253万707円の補償金免除繰上償還が承認されました。
	今後、3月議会で、この償還と、借換債4億5,210万円の補正予算を予定しています。これにより、利率1.2パーセントで試算しますと、今後、10年間で、約8,584万円の利息を軽減できると考えています。
	3点目は、来年度の水道審議会ですが、予算案では、6回の会議を予定しています。審議内容は、「地下水利用協力金のあり方」について、5月から審議を始め、秋には、答申いただきたいと思っています。また、来年度は、水道料金等の包括委託の準備、決算、予算なども説明させていただきたいと考えています。
	次に4点目ですが、本日お配りした資料の取扱いについてです。

現在、予算編成の最中であり、今後、市議会での議決を経なければ予算が成立しません。そのため、資料の取扱いには十分ご注意ください。なお、情報公開への対応は、一部を除き、3月議会以降、予算成立後としたいと思います。

最後に5点目ですが、料金改定については、広報はだの2月1日号に料金改定の特集記事を掲載する、秦野市水道局ホームページに料金改定のページを掲載する、2、3月の水道メーター検針時に料金改定に関する周知用リーフレットを全戸に配付する、地域や団体からの要望により、或いは大口需要者である企業などには、料金改定のねらい等を説明に伺うなどの個別対応を実施する、といった方法で周知を図る予定です。以上です。

松下会長

事務局から5点ほど説明がありましたが、これについて、質問や意見などありましたらお願いします。

松下会長

—特になし—

以上をもちまして、平成22年度第9回秦野市水道審議会を終了します。

〔午後3時05分終了〕